

公共交通を考えるワークショップ

## 第4回

この地域のくらしの足を  
どうしたらよいか？

みんなで考える  
ワークショップ

草花折立下区域

日時：平成31年1月13日（日）  
午前10時～午前12時（予定）  
場所：折立会館



# ワークショップの実施にあたって

## 1) ワークショップの進め方

第1回（9月15日（土））・・・開催済み  
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月6日（土））・・・開催済み  
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（11月4日（日））・・・開催済み  
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に  
アンケート調査を実施予定

第4回（本日）  
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

# ワークショップの実施にあたって

## 2) 本日のワークショップで行いたいこと

第3回ワークショップのふりかえり

地区へのアンケート調査結果の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

グループワーク

(1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、  
どのようになりますか？

(2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力し  
ていただけることはありますか？



## 第3回ワークショップのふりかえり

### 「この地区の交通サービスの方向性（素案）」の確認

#### 1. この地区の交通サービスの目的（素案）

草花団地（急坂下 改め）にも配慮して、  
鉄道駅や病院への足を確保する

##### 【いただいたご意見】

- ・「草花団地にも配慮して」は必須ではなく、配慮の結果当地区の公共交通整備が遅れないようにしてほしい。
- ・買物目的も考慮してほしい。

#### 2. 主な利用者の想定（素案）

- ・免許返納後の高齢の方
- ・自分で車を運転できない方など

##### 【いただいたご意見】

- ・特にありませんでした。

### 3. 交通サービスの候補（素案）

分類	サービス内容	
1) 定期路線運行型交通の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まった路線と決まったダイヤで、車両を運行する。</li> </ul>	1)-1 <u>従来の「るのバス」を走らせる。</u> 1)-2 <u>小型の車両を走らせる。</u> （草花団地までも通すため）
2) <u>タクシー代の補助</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー代を補助する。</li> </ul>	
3) <u>ドアtoドアの交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅の近くから目的地まで行けるように、車両を運行する。</li> </ul>	3)-1 <u>タクシーの相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗） 3)-2 <u>自家用車の相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗）
4) <u>路線バスの利便性向上</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今ある路線バスを、使いやすくする。</li> </ul>	① <u>西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる。</u> ② <u>永田橋付近のバス停を移動させる。</u>
5) 住民主体の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の自主運行による交通手段を導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まった路線と決まったダイヤで運行。</li> </ul>
6) 自転車の共同利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。</li> </ul>	① <u>最寄りのバス停までの移動に利用</u> ② <u>駅や病院等への移動にも利用</u>

#### 【いただいたご意見】

- 「7) 企業等との連携」を追加してほしい。

### 3. 交通サービスの候補（素案）

それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

- サービス内容に関する具体的なご意見  
別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「サービス内容に関するご意見」（5ページ）をご覧ください。

- 交通サービスのメリットとデメリット  
次ページの概要をご覧ください。

※メリットとデメリットについて、詳しくは、別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「交通サービス（候補）のメリット・デメリット」（3～4ページ）をご覧ください。

# 交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見） 1/2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 定期路線 運行型交通 の導入	1)-1 従来の「る のバス」を走ら せる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>現在運行しているから実現しやすいのではない</u>か。</li> <li>• <u>公共施設や病院を經由</u>している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>今のるのバスは利用者が少なく非効率</u>。</li> <li>• <u>経費がかかる</u>。</li> <li>• <u>導入までに時間がかかりそ</u>うだ。</li> </ul>
	1)-2 小型の車両 を走らせる。 (草花団地まで も通すため)	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>経費がかかる</u>。</li> <li>• <u>草花団地の道は、普通車同士のすれ違いも難しい</u>（軽自動車ならよいのでは）</li> </ul>
2) <u>タクシー代の補助</u>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>るのバスより現実的</u>（だと思う）。</li> <li>• <u>当面進めやすそう</u>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>経費がかかる</u>。</li> <li>• <u>制度の確立が必要</u>。（どんな利用目的でも補助してくれる？）</li> </ul>
3) <u>ドアtoド アの交通</u>	3)-1 タクシーの 相乗り(目的地が 同じ人で同乗)	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>タクシー代の補助の方が現実的</u>。</li> <li>• <u>相乗りの具体的な方法など実現性に疑問</u>。</li> </ul>
	3)-2 自家用車の 相乗り(目的地が 同じ人で同乗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>制度として確立できれば、好ましい方法</u>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>事故が発生した時の処理や補償問題をどう解決するか</u>。</li> <li>• <u>ドライバーに負担がかかる</u>。</li> </ul>

## 交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見） 2/2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
4) <u>路線バスの利便性向上</u>	4)-1 西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>るのバスと違い、買物や通院目的で他の自治体へも乗り入れることができる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>路線バスの経路変更は道路の問題もあり非現実的。</u></li> <li>• <u>路線バスは現在でも減便されており、とても現実的とは思えない。</u></li> </ul>
	4)-2 永田橋付近のバス停を移動させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>現段階では、永田橋付近のバス停の移動にはメリットがある。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>バス停を移動すると遠く<u>なってしまう人も</u>いる。</u></li> </ul>
5) 住民主体の交通手段		-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>地区の事情からみて導入は難しい。</u></li> <li>• <u>事故があった場合など、最終的に誰が責任を取るのか。</u></li> </ul>
6) 自転車の共同利用		-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>（高齢者にとって）電動自転車は（重いため）怖くて乗れない。</u></li> <li>• <u>かなりの台数が必要になってしまわないか。</u></li> </ul>
7) 企業等との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>費用がかからない。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>すぐに変更、中止される可能性がある。</u></li> </ul>



# 地区へのアンケート調査結果の確認

## 1. アンケート調査の実施概要

### ○目的

区域にお住まいの方を対象に、公共交通に対する日ごろの考え方やニーズ、ワークショップで検討されている交通サービスの利用意向などについて、広く把握することを目的とする。

### ○調査対象

草花折立下区域に居住する世帯 ⇒各世帯から1名  
(162世帯。全世帯対象)

### ○調査方法

郵送配布、郵送回収

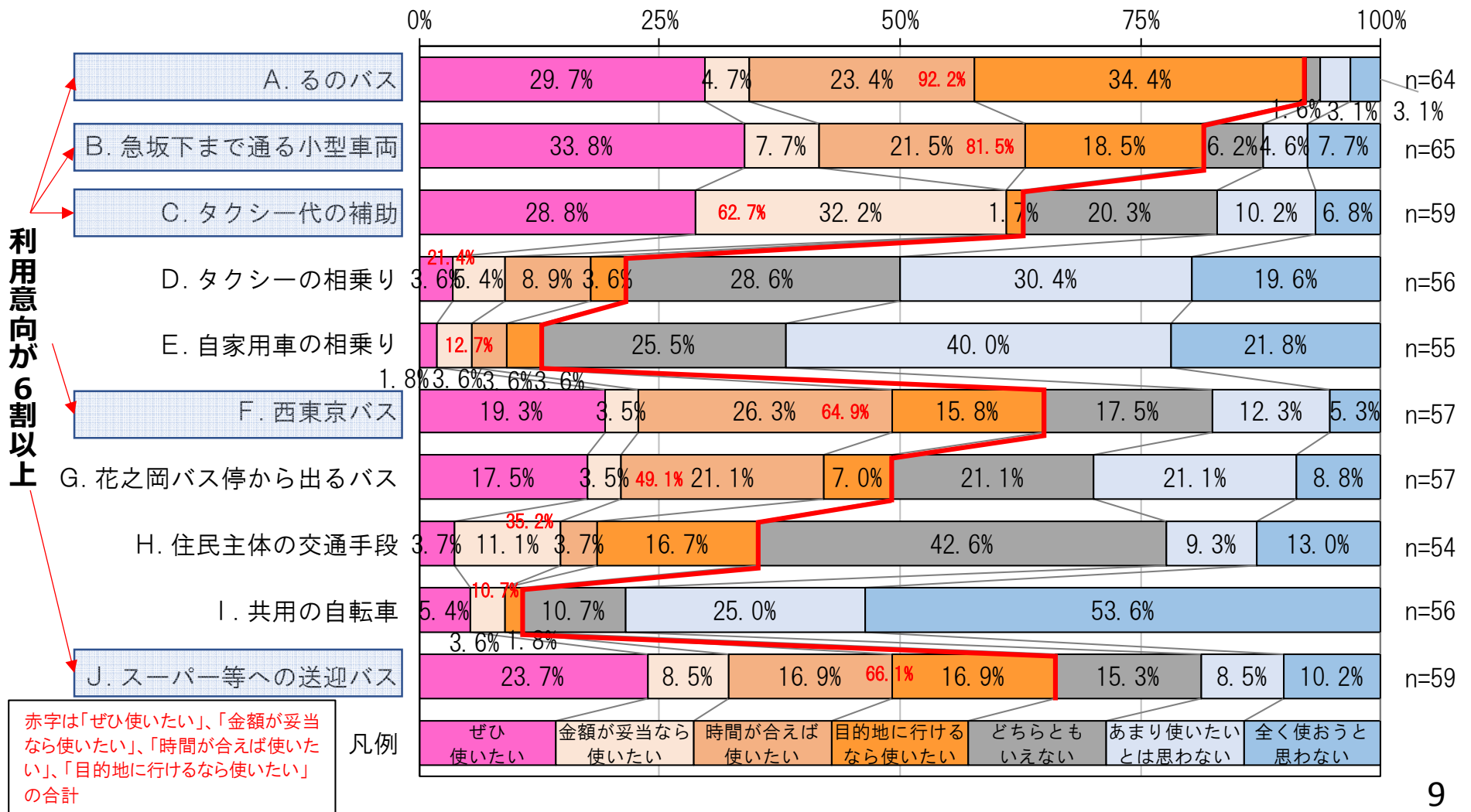
### ○調査期間

2018年12月14日～12月25日

## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用したいサービス

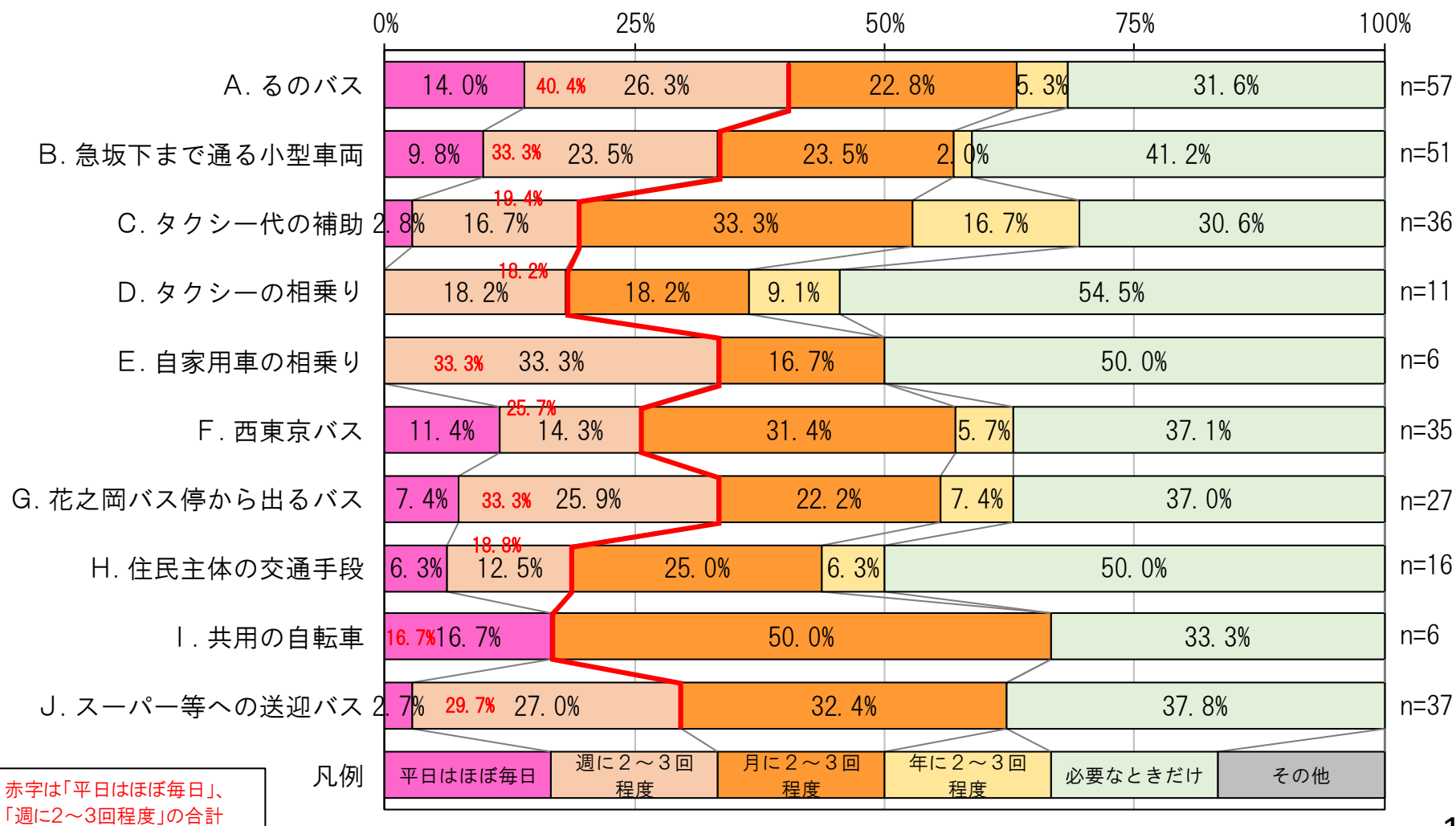
- 公共交通サービスの候補のうち、利用意向が60%を超えたのは、「A. るのバス」、「B. 急坂下まで通る小型車両」、「C. タクシー代の補助」、「F. 西東京バス」、「J. スーパー等への送迎バス」の5つでした。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用頻度

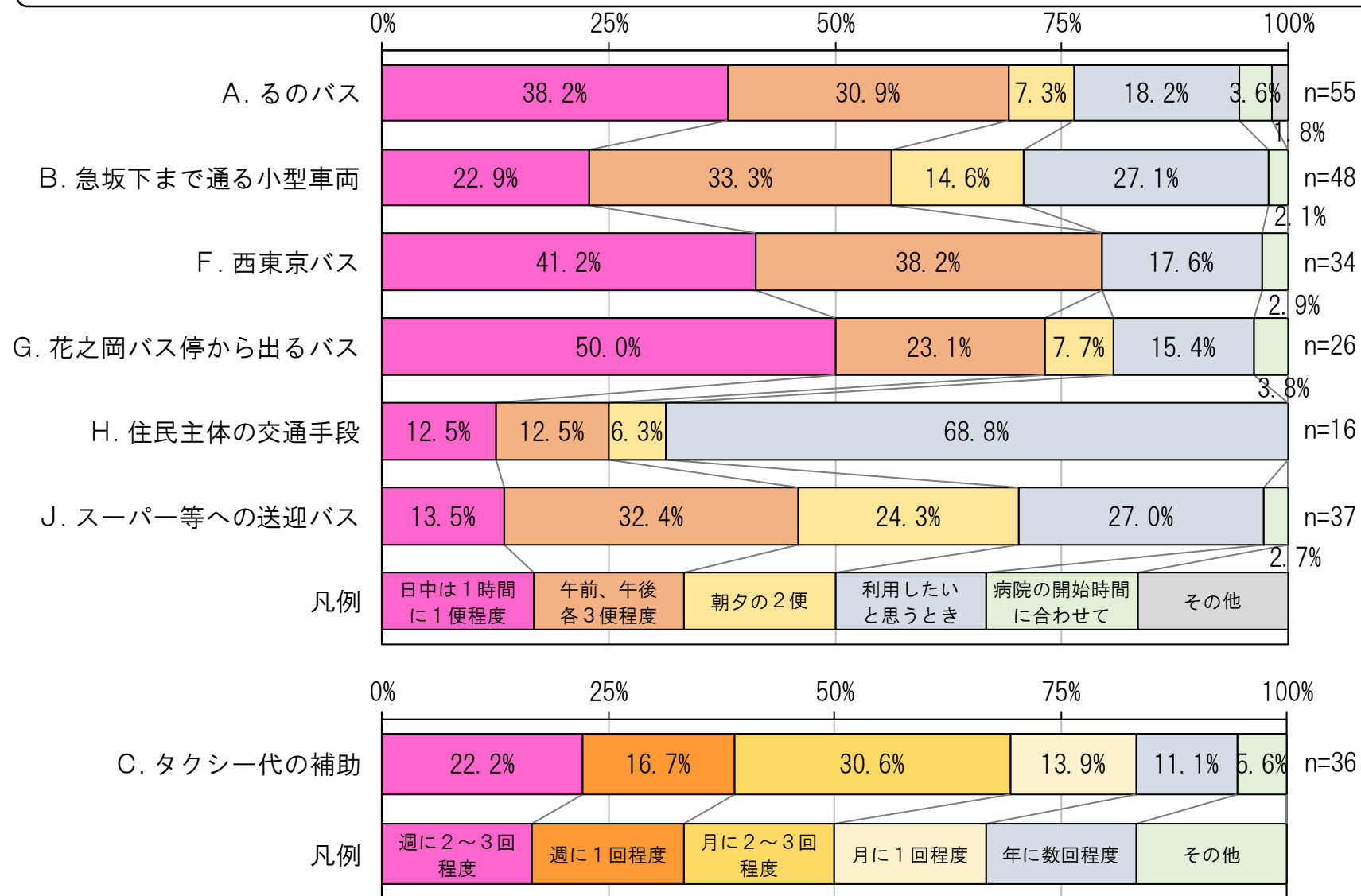
- 「A. るのバス」、「B. 急坂下まで通る小型車両」、「J.スーパー等への送迎バス」、「F. 西東京バス」の4つは利用頻度も高くなっています。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■ 運行頻度

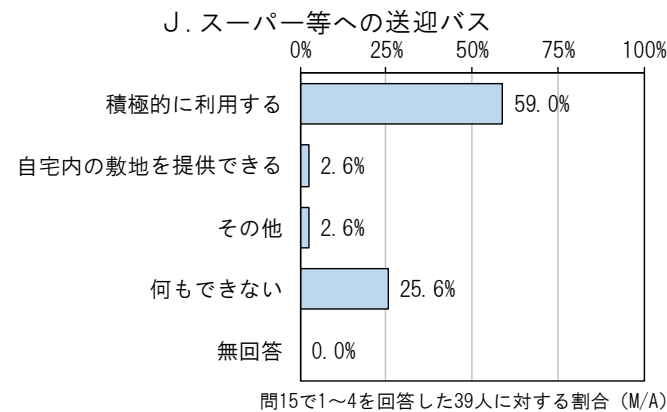
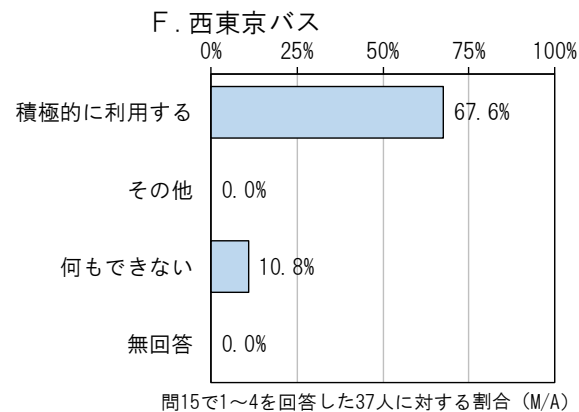
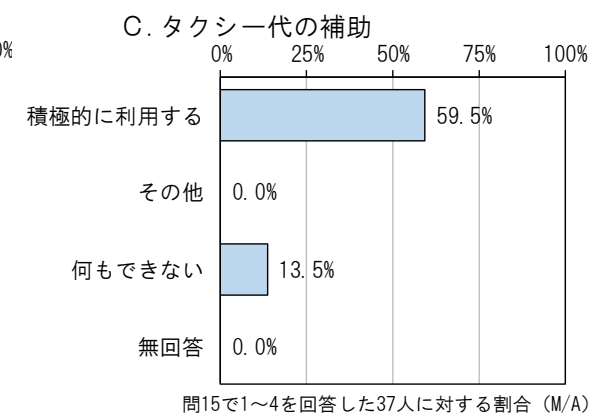
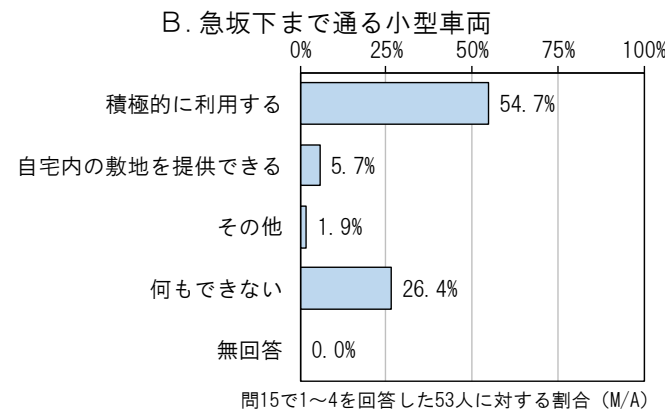
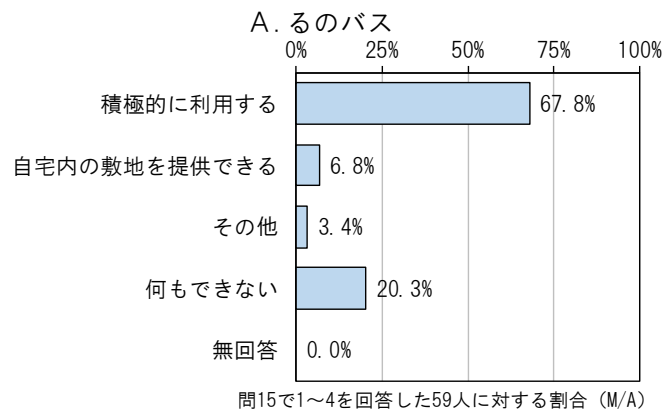
- るのバス、西東京バスは「日中は1時間に1便程度」を求める人が多くなっています。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■ 輸送サービスに対する支援

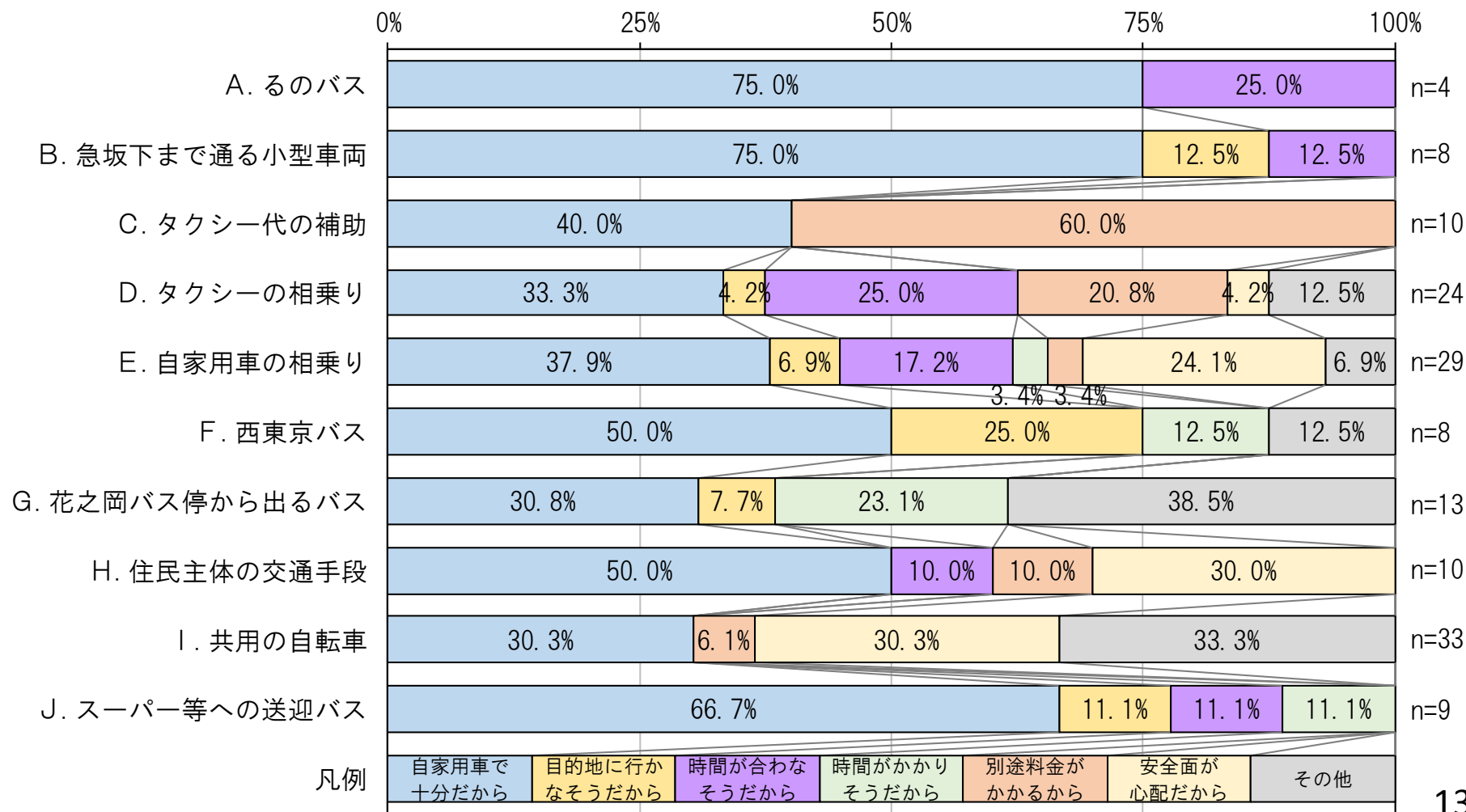
- 利用意向が高いサービスについてみると、いずれについても、「積極的に利用する」という人は50%を超えています。
- 「A. るのバス」、「B. 急坂下まで通る小型車両」については、複数の方から「自宅の敷地を提供できる」という回答がありました。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用しない理由

- 利用意向が高いサービスについてみると、「自家用車で十分だから」の割合が高くなっています。



# この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

## この地区の交通サービスに関する地区の素案

### 1. この地区の交通サービスの目的

草花団地にも配慮※<sup>1</sup>して、鉄道駅や病院、買物などへの足を確保する。

※<sup>1</sup> 草花団地への対応は、可能な限りとします。

### 2. 主な利用者の想定

- 免許返納後の高齢の方
- 自分で車を運転できない方※<sup>2</sup>など

※<sup>2</sup> 「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含みます。

### 3. 交通サービスの候補

交通サービスの候補	想定されるサービス内容
①るのバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まった路線と決まったダイヤで、大型の車両を運行する。 (草花団地は通れない場合がある)</li> </ul>
②草花団地まで通る小型車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まった路線と決まったダイヤで、車両を運行する。</li> </ul>
③タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー代を補助する。</li> </ul>
④タクシーの相乗り (目的地が同じ人で同乗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的地が同じ人同士でタクシーを相乗りする仕組みをつくる。</li> </ul>
⑤自家用車の相乗り (目的地が同じ人で同乗)	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的地が同じ人同士で自家用車を相乗りする仕組みをつくる。</li> </ul>
⑥西東京バスの路線延伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>福23系統のバス(福生駅～阿伎留医療センターを走るバス)を永田橋交差点からとよ坂～江里坂～氷沢橋に走らせる。</li> </ul>
⑦花之岡バス停から出るバス	<ul style="list-style-type: none"> <li>花之岡バス停を永田橋寄りに移設し、草花折立下区域からバス停までの距離を短くする。</li> </ul>
⑧住民主体の交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民が運行する定路線又はオンデマンド路線をつくる。 (車両は市から町内会・自治会へ貸与)</li> </ul>
⑨共用の自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会内で電動自転車を共同利用する仕組みをつくる。 (自転車は、市から町内会・自治会へ貸与)</li> </ul>
⑩企業が提供する、スーパー等への送迎バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等と連携し、スーパー等への送迎バスを運行してもらう。</li> </ul>



# 本日のグループワークについて

## 第3回ワークショップ

- この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
- それぞれの交通サービスのメリットとデメリット（良い面と悪い面）



## 第4回ワークショップ

この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓（交通サービスの10候補）

交通サービスの優先順位付け

### グループワーク1

交通サービス（候補）に優先順位をつけていただきます。



優先順位の高い交通サービス

協力していただけることの見出し

### グループワーク2

これらの交通サービスを入れる際に、協力していただけることをお聞きします。



# グループワーク（1）

交通サービス（候補）に優先順位をつけると、  
どのようになりますか？

- 12ページに示した交通サービスの候補に優先順位をつけると、どのようになりますか？

グループワーク（1）の流れ（それぞれのテーブルで）

- 地区へのアンケート調査結果
- この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓ 総合的に判断

1) 回答用紙に、優先順位の高い交通サービス（上位3つ）の番号を記入

↓

2) それぞれのテーブルでまとめ

## グループワーク（２）

この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

- グループワーク（１）を踏まえて、全体での優先順位が高い交通サービス（上位3つ）を入れる際に、何か協力していただけることはありますか？

グループワーク（２）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) やることの確認



2) それぞれ付箋に記入。  
付箋を模造紙に整理し、テーブル内で意見出し。



3) それぞれのテーブルでまとめ。

# ワークショップのまとめ

## ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、  
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」ということについて、地区としての案をまとめました。



今後の取組を進めるうえでの検討材料として活用します。

### ＜今後の市の動き＞

- ・市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域のうち、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。

（どの区域で実証実験を実施するかは現段階では未定です）

- ・実証実験の実施に向けて、各種の調整を進めてまいります。

